

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築演習 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	山田 盛久			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、問題発見・解決するためのプロジェクトに取り組む過程でデザイン思考を学ぶ。解決案を複数提案すること能動的な学習を行う。											
到達目標											
この科目では、プロジェクトの中でデザイン思考を育成する上で、様々な観点から案を考え、更に試作をつくり検証する過程を経ていくことを主眼に置いている。したがって、プロジェクトの思考過程は常に記録に取り、どのような変遷を経て最終形になったかを見つめ、最終的には展示会等で発表し他者から評価を得ることを1つの到達目標として設定する。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
レポート 出席状況 平常点	70% 20% 10%	業務内容の理解度を確認するために実施する 時間を守り授業の取り組み度合いを評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。											
教科書教材											
必要に応じ資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	問題発見・解決プロジェクト（1） プロジェクトの中間報告会										
第2回	問題発見・解決プロジェクト（2） 試作品作成①										
第3回	問題発見・解決プロジェクト（3） 試作品作成②・検証										
第4回	問題発見・解決プロジェクト（4） 試作品作成③・検証結果から修正										
第5回	問題発見・解決プロジェクト（5） 試作品作成④										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築演習 4	
第6回	問題発見・解決プロジェクト（6） 試作品作成⑤
第7回	問題発見・解決プロジェクト（7） 試作品作成⑥
第8回	修了制作／プロジェクトワーク 修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成
第9回	修了制作／プロジェクトワーク 修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成
第10回	修了制作／プロジェクトワーク 修了制作 作業指導／プロジェクトの最終成果品作成
第11回	選抜講評会 卒業制作 講評会を聴講
第12回	プロジェクトワーク プロジェクトの最終成果品 制作
第13回	プロジェクトワーク プロジェクトの最終成果品 制作
第14回	プロジェクトワーク プロジェクトの最終成果品 制作
第15回	展示会 展示会において発表